

2 環境学習

県民一人ひとりが環境を正しく理解し、環境に負荷をかけないライフスタイルを実現・実行することこそが環境保全にとって最も重要であるという考えのもと、環境保全の実践に結びつくものとするため、各種講座の開催など環境学習の機会の提供を行っている。平成25年度の環境学習の取組については、以下のとおりである。

2.1 彩の国環境大学

県では、平成9年度から環境科学に関する知識を持った専門的な人材を育成するため、彩の国環境大学を開講している。今年度も環境に関する広範囲かつ専門的な知識を習得するため、基礎課程、実践課程を開講した。

開講期間：8月24日～11月16日。各課程全10回。受講者：79人。修了者：62人。

開講式公開講座

開催日	講義名	講師名
8月24日	PM2.5(微小粒子状物質)の発生と環境影響	埼玉県環境科学国際センター 総長 坂本和彦

閉講式公開講座

開催日	講義名	講師名
11月16日	水生生物を保全するために	生態工学研究所 代表 東北大学大学院工学研究科 客員教授 須藤隆一



開講式公開講座



閉講式公開講座

基礎課程

開催日	講義名	講師名
10月5日	地球環境・埼玉の環境 埼玉県の温暖化の実態とその影響 －温暖化の生物・農業・健康への影響－	埼玉県環境科学国際センター 担当部長 嶋田知英
10月5日	廃棄物管理 持続可能な社会を求めて－江戸と現代の比較－	日本工業大学 教授 小野雄策
10月12日	化学物質 気になる暮らしの化学物質	埼玉県環境科学国際センター 担当部長 野尻喜好
10月12日	埼玉の環境 埼玉の環境－現況と対策－	埼玉県環境部環境政策課 技師 吉野徳幸

開催日	講義名	講師名
10月19日	自然環境 変化する自然環境と野生生物	埼玉大学 非常勤講師 巢瀬 司
10月19日	環境法学 自然の再生・創造と法の役割	東京経済大学 教授 磯野弥生
10月26日	水環境 健全な水循環と里川の再生	埼玉県環境科学国際センター 担当部長 高橋基之
10月26日	環境経済学の基礎 原発問題と廃棄物問題から考える	東京経済大学 准教授 野田浩二
11月 2日	大気環境 埼玉県の大気環境	埼玉県環境科学国際センター 研究推進室副室長 竹内庸夫
11月 2日	環境国際協力 日本の環境国際協力	(独)国際協力機構 地球環境部 森林自然・環境保全担当 鈴木和信

実践課程

開催日	講義名	講師名
8月31日	環境学習の現状と課題 環境学習の今後の取り組み	立教大学大学院 教授 阿部 治
9月 7日	環境学習プログラムをデザインする 環境学習プログラムをデザインする(演習)	学びの広場 代表 小川達己
9月14日	環境学習から環境まちづくりへ 学びと参加をつなげひろげるコーディネーターの役割	NPO法人 エコ・コミュニケーションセンター 代表 森 良
9月21日	生物多様性の保全について 生物調査方法の実践(生態園にて実地演習)	埼玉県生態系保護協会 統括主任研究員 高野 徹
9月28日	事例研究① 地域で実践する里山保全活動	もりんど 会長 山本悦男
9月28日	事例研究② 市民・学校・行政とのコミュニケーション	埼玉県環境アドバイザー 浅羽理恵

2.2 公開講座

彩の国環境大学修了者フォローアップ講座をはじめ、センター施設を活用した生態園体験教室、県民実験教室を開催した。

講座名	開催日	テーマ	参加者
① 彩の国環境大学修了者フォローアップ講座 環境保全活動や環境学習活動を行う彩の国環境大学修了者を対象に支援を行うため開催している。	1月25日(土)	講演 「廃棄物処理・処分における最終処分場の重要性」 活動事例発表 「スマートライフ」 「リスク(環境)コミュニケーション」	53人

講座名	開催日	テーマ	参加者	
② 生態園体験教室 生態園における観察会や野外活動を通して身近な環境のしくみの理解や自然と生活との共生のあり方における自然環境保護意識の向上を図るため開催している。	4月29日(月)	自然は友達！ネイチャーゲームで遊ぼう	71人	
	5月5日(日)	自然観察会 見てみよう春の生態園	54人	
	7月20日(土)	川の生物で環境調査をしよう	34人	
	8月3日(土)	昆虫の標本を作ろう	38人	
	8月10日(土)	竹で工作しよう ～うぐいす笛～	64人	
	11月14日(木)	ダンボールクラフト ASIMOを作ろう	80人	
	11月14日(木)	自然観察会 見てみよう秋の生態園	45人	
	12月14日(土)	実りのリースを作ろう	51人	
	③ 県民実験教室 簡易な科学実験やリサイクル工作を通して環境保全意識の向上を図るため開催している。	4月28日(日)	リサイクル工作 「CDで遊ぼう不思議なコマと風船ホバー」	93人
		5月4日(土)	ゆらゆらコバトンを作ろう	71人
5月6日(月)		サイエンスショー 「爆発実験！」	211人	
6月23日(日)		廃油からリサイクル 「石けんを作ってみよう」	48人	
7月15日(月)		大気の性質を調べてみよう	34人	
7月28日(日)		水の性質を調べてみよう	47人	
8月9日(金)		土の性質を調べてみよう	39人	
8月18日(日)		リサイクル工作 「透明UFO作りに挑戦！」	143人	
9月29日(日)		身近な物の中の化学物質を調べてみよう	23人	
10月27日(日)		音と振動のなぞを調べてみよう～実験とものづくりで確かめる音の正体～	21人	
11月14日(木)		サイエンスショー 「空気ってチカラもち！」「-196℃の世界」	530人	
12月15日(日)		草木染めをしてみよう	39人	
12月22日(日)		廃油からクリスマスアロマキャンドルを作ろう	40人	
1月26日(日)		楽しい実験でさぐる固体と結晶のひみつ	56人	
3月30日(日)		糸電話を科学しよう	62人	

(24講座、計1,947人)

2.3 身近な環境観察局ネットワーク

環境に関心がある県内の個人や団体に、簡易な環境調査法を学習する機会を設けている。観察局数:68局(平成26年3月31日現在)。

身近な環境観察局では、年間を通じて大気・水質・酸性雨・一般指標生物・ハンノキとミドリシジミの調査を行っている。

平成25年度は新規応募者研修会を3回、大気測定会を5回実施した。また、身近な環境観察局ワーキンググループ活動成果発表会を実施し、観察局間の交流を図った(3月1日(土) 参加者37人)。

2.4 研究施設公開

ゴールデンウィーク、夏休み、県民の日に研究施設の一般公開を行っている。

開催日		内容	参加者
5月6日(月)	ゴールデンウィーク	普段非公開の研究施設を見学するツアーを実施	101人
8月7日(水)	夏休み		103人
11月14日(木)	県民の日		91人

(計295人)

2.5 地域環境セミナー

地域環境セミナーは、県内地域の環境保全活動を支援するため、センターの職員が地域に出向いて行うもので、自治体や環境保全団体等との共催、もしくは協力を得て実施するものである。

8回目の今回は、県、環境大学修了生の会、県内の環境保全団体や埼玉県地球温暖化防止活動推進センターなどから構成する実行委員会に参加し、「第4回低炭素まちづくりフォーラムin埼玉」を実施した。

開催日	会場	内容	参加者
1月19日(日) 1月20日(月)	秩父市歴史文化 伝承館	<ul style="list-style-type: none"> ・基調講演 (公財)地球環境戦略研究機関 国際生態学センター長 宮脇 昭 氏 「いのちを守るふるさとの森ーちちぶから世界へー」 ・分科会 「実践エコライフ」、「川・生物多様性」、「里山・生物多様性」、「都市と森をつなぐ再生可能エネルギー」、「環境まちづくり」 ・ポスター展示(環境科学国際センターの取組をPR) 	フォーラム 参加者数 230人

2.6 イベント参加

他部局のイベントに参加し、ポスター展示やチラシなどにより環境学習活動のPRを行った。

開催日	イベント名	会場	参加者
10月6日(日)	さいたまサイクリングフェスティバル	熊谷スポーツ文化公園	1,300人

2.7 その他

ゴールデンウィーク、夏休み、県民の日等に各種イベントを実施した。

イベント名	開催日	内容	備考
① ゴールデンウィーク特別企画	4月27日(土) } 5月6日(月)	<ul style="list-style-type: none"> ・オリエンテーリングクイズ ・サイエンスショー ・リサイクル工作 ・自然観察会 ・研究所公開	参加者延 5,356人
② 夏休み特別企画	7月15日(月) } 9月1日(日)	<ul style="list-style-type: none"> ・オリエンテーリングクイズ ・サイエンスショー ・リサイクル工作 ・研究所公開 ・各種環境講座	参加者延 8,105人
③ 県民の日特別企画	11月14日(木)	<ul style="list-style-type: none"> ・サイエンスショー ・リサイクル工作 ・自然観察会 ・オリエンテーリングクイズ ・研究所公開	参加者延 4,164人
④ 上映会	4月27日(土) } 3月30日(日)	<ul style="list-style-type: none"> ・「恐竜たちの大移動」 ・「カブトvsクワガタ」 ・「消防自動車ができるまで」他 	参加者延 3,297人

(計20,922人)